



MURA NEWS



埼玉県町村議会議長会副会長および比企郡町村議会議長会会長就任

この度、東秩父村議会の野口勝則議長が令和8年度の埼玉県町村議会議長会副会長および比企郡町村議会議長会会長を務めることになりました。

埼玉県町村議会議長会は県内23町村の議会議長をもって構成されており、地方議会の円滑な運営と地方自治の振興発展に寄与することを目的として設立されています。比企郡町村議会議長会は比企郡と東秩父村を含む8町村の議会で構成される組織で、町村の自治発展や住民福祉の向上を目指し、各議会の連携強化や共通課題についての情報共有・要望活動などを行っています。



2団体と災害時における協定を締結しました

災害時、本村単独での配備が困難なものについて、積極的に災害時協定を結んでいく必要があります。

今回、埼玉中央農業協同組合様（写真上段）と「災害時における燃料の供給に関する協定」および「災害時における物資等の供給協力に関する協定」を締結しました。本村には自動車燃料の供給場所がなく、災害時には特に問題となります。また、商店が少ないため、物資等の供給は必須であり、有意義な協定となります。



また、測技テラノ株式会社様（写真下段）と「災害時における無人航空機（ドローン）を活用した被害状況調査に関する協定」を締結しました。この協定により、四方山に囲まれている本村において、災害時土砂崩れなどで立ち入ることができなくなってしまった場合、ドローンによって災害状況を把握することができます。

災害時、村民を守るためこれからも必要な対策を行ってまいります。



槻川小学校で租税教室を行いました

次の時代を担う児童の皆さんに税の意義や役割を正しく理解していただくため、6月5日（金）、槻川小学校6年生の児童11名を対象に「租税教室」を開催しました。これは、秩父郡市租税教育推進協議会が主催し、毎年実施しています。当日は、「なぜ税金が必要なのか」という内容を中心に、クイズ、DVD視聴、1億円のレプリカ体験も交え、児童の皆さんに楽しみながら、積極的に授業に参加していただきました。税金を身近に感じる事ができたのではないかと思います。